

高松市立山田中学校 道徳便り 2024



4月

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生のみなさん、進級おめでとうございます。新年度が始まり、新しいなかまや先生とともに、また新たな気持ちで生活しているという気持ちがみなさんから伝わってきます。今の気持ちを忘れず、これから充実した学校生活を送ってほしいと思います。

さて、今年度も「特別の教科 道徳」の授業が始まりました。自分を深く見つめ、友人の考えにしっかり耳を傾けながら、みんなが気持ちよく生活するためにはどうしたらいいのかを考えられるような授業をめざしていきたくと思っています。1年間、どうぞよろしく願います。

新年度を迎えるにあたり、詩を一編紹介します。

自分の一歩
宮沢 章二

いま わたしの踏みしめる一歩は
だれかほかの人の一歩ではない
わたしの足が地上に刻む一歩は
いつでも わたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先を歩くからといって
他の人より優れているとは限らない
他の人より一歩後を歩くからといって
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩き出したのだから
自分の一歩をしっかりと信じて進もう
— その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には〈人生〉など まだない
到着点にこそ わが〈人生〉はあるのだ
歩きつづけ行きぬいた尊い証明として



中学生になって、毎日の様々な経験を通し、みなさんの「心」はまちがいなく成長します。でも、まだその「心」は耕すことができます。みなさんの前にある未来という「道」。その道を自分にふさわしい生き方で進んでいってください。

保護者の皆様へ 「特別の教科 道徳」について

「特別の教科 道徳」には2つのポイントがあります。

♪ポイント① 授業の組み立て方

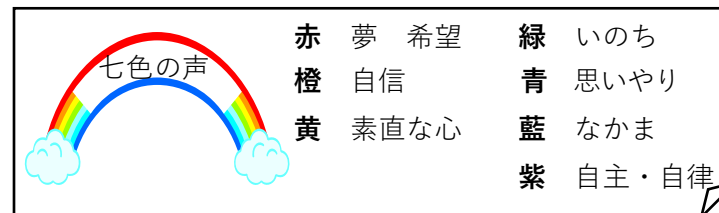
教師が「〇〇は正しいことです。」と教えるだけでなく、さらに、生徒自身が自分の中で考えを深める時間を設定します。例えば、「目標に向かってがんばってやり遂げたときはいい気持ちだなあ。」ということ思い出させるだけでなく、「大切なことだけど、実現は難しいことだ。」とか、「人によってとらえ方が違っているかもしれない。」といった多様な意見にも目を向け、対話や議論を通して内容を深めていきたいと思っています。また、基本的には担任の先生が授業を行います。多様な教師の考えにふれられるように、1年間に3回、学年団の先生方が順番に授業をする「ローテーション道徳」を行います。

♪ポイント② 評価

特別の教科としての評価を行います。9教科で行う評価とは異なり、「数値評価はしない」、「入試には活用しない」、「挨拶ができるようになった等の具体的な行動を評価としない」ことにしています。評価の観点は「考えをいろいろな見方へと発展しているか」、「道徳的な考え方を理解し、自分との関わりの中で深めているか」の2つです。一人ひとりの学習の状況や成長の様子を大きくくりなまを踏まえて、記述式で行っています。

山田中学校の道徳では生徒会目標 **【虹～認めよう、みんなの個性 輝かそう、自分の個性～】**

にちなみ、「七色の声」を大切にしています。「七色の声」とは、大切にしたい7つの項目を色で表したものです。



本年度も、「道徳の週」を継続します。学習の様子は「道徳便り」でお知らせします。また、振り返り用紙を利用して、一年間の学びや成長を確認していきます。

切り取り線

ご意見欄

お名前

高松市立山田中学校 道徳便り4月(2024)

